

2024 年度ワカサギ漁期前調査結果

2024 年 7 月 17 日
水産試験場内水面支場

霞ヶ浦漁業協同組合及びきたうら広域漁業協同組合が実施した「ワカサギ漁期前調査」の結果は、以下のとおりです。

1 調査概要

(1) 目的

霞ヶ浦北浦におけるワカサギ漁解禁前の資源状況を確認する。

(2) 調査組織

ア 実施主体 霞ヶ浦漁業協同組合、きたうら広域漁業協同組合

イ 実施協力 水産試験場内水面支場

(3) 調査方法

わかさぎ・しらうおひき網を用いてワカサギ等の水産動物を採捕する。

(4) 調査実施日・気象・時間

ア 霞ヶ浦 7月3日(水)、曇、風向風速 北東 1.6m/s (土浦)、3:00-5:00

イ 北浦 6月26日(水)、曇、風向風速 東 1.0m/s (鉾田)、4:00-6:00

(5) 調査点(図1)、曳網時間及び曳網層

ア 霞ヶ浦 ① 調査点 4点(湖心・牛渡沖・沖宿沖・高浜入)

② 曳網層 2回曳網 3:00、4:00

ワカサギ網(表層・中層)

シラウオ網(表層)

③ 曳網時間 20分/回

イ 北浦 ① 調査点 4点(水原沖・白浜沖・江川沖・馬渡沖)

② 曳網層 表層

③ 曳網時間 20分/回(馬渡のみ10分間)

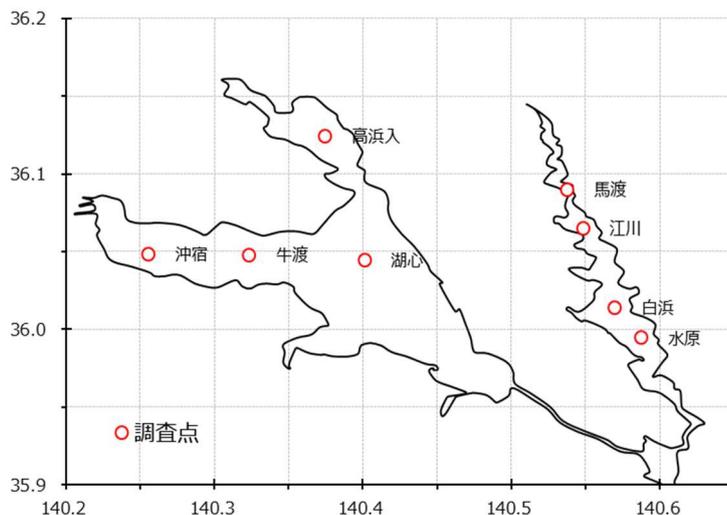


図1 ワカサギ漁期前調査 調査点

2 結果

(1) 霞ヶ浦

① 採捕量について

調査水域でそれぞれ2回操業したうち、ワカサギ重量が多かった回を集計した結果、ワカサギの採捕重量は合計 1.60kg、採捕尾数は合計 1,508尾となり、前年合計の30.3kg、19,159尾を大きく下回り、対前年比で重量は **5.3%**、尾数は **7.9%**となりました(表1)。図2に採捕尾数をもとに、水域ごとの面積で引き伸ばして計算した資源指数を示しました。今年の資源指数は **0.1**と2010年以降で最も低い水準になりました。

なお、今回の調査では、湖心・沖宿・高浜入ではシラウオ網による操業も行いました。その結果、シラウオの採捕重量は湖心で25.1kg、沖宿で2.9kg、高浜入で6.0kgとなりました(表2のとおり)。

表1 ワカサギ採捕結果一覧

年	実施日	採捕重量[kg/20分]				採捕尾数[尾/20分]					
		湖心	土浦入 (牛渡沖) (沖宿沖)		高浜入	合計	湖心	土浦入 (牛渡沖) (沖宿沖)		高浜入	合計
2014	6/25	36.0	16.0	13.2	19.2	84.4	24,171	11,274	9,894	13,434	58,773
2015	6/26	46.0	17.0	56.4	44.1	163.6	27,453	8,955	31,721	25,481	93,610
2016	6/29	21.7	2.6	8.6	66.1	99.0	9,082	1,135	4,074	28,391	42,681
2017	6/28	12.2	3.3	21.3	17.1	53.9	6,021	1,723	11,427	9,073	28,243
2018	7/3	4.2	6.1	12.7	6.6	29.6	2,792	3,849	9,193	4,254	20,087
2019	7/4	5.1	2.6	6.6	欠測	(14.3)	2,661	1,434	4,343	欠測	(8,438)
2020	7/9	3.1	2.0	6.4	5.0	16.5	2,088	1,187	5,085	3,679	12,039
2021	7/7	20.5	11.5	7.5	1.5	41.0	9,575	5,602	4,535	803	20,515
2022	7/8	26.4	22.7	7.7	0.7	57.4	20,956	21,443	7,405	649	50,453
2023	7/5	20.7	4.2	1.5	3.9	30.3	12,543	2,847	1,113	2,656	19,159
2024	7/3	0.10	0.49	0.65	0.37	1.60	83	430	640	355	1,508

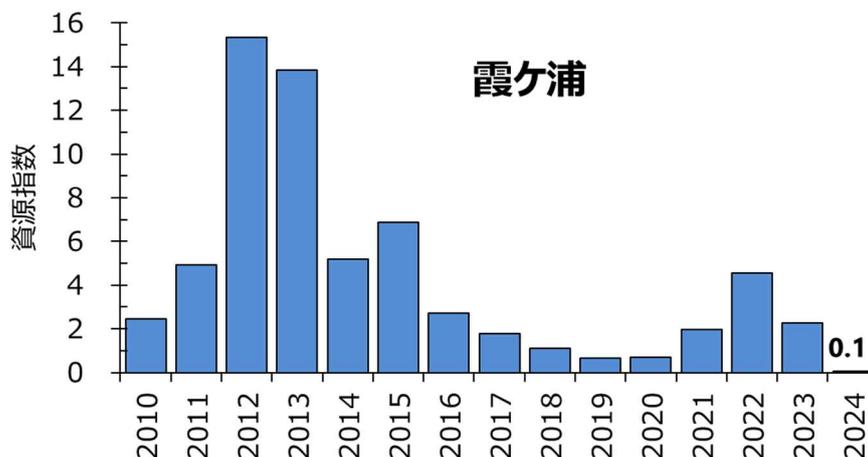


図2 ワカサギ資源指数 (尾数) の推移 (霞ヶ浦)

② ワカサギの魚体サイズ

ワカサギの魚体サイズは、全調査点の平均で体長が 4.9 cm、体重が 1.1g となり、前年（平均体長 5.3 cm、平均体重 1.5g）より小さく、過去 10 年間の平均値（5.4 cm、1.7g）を下回りました（図 3）。

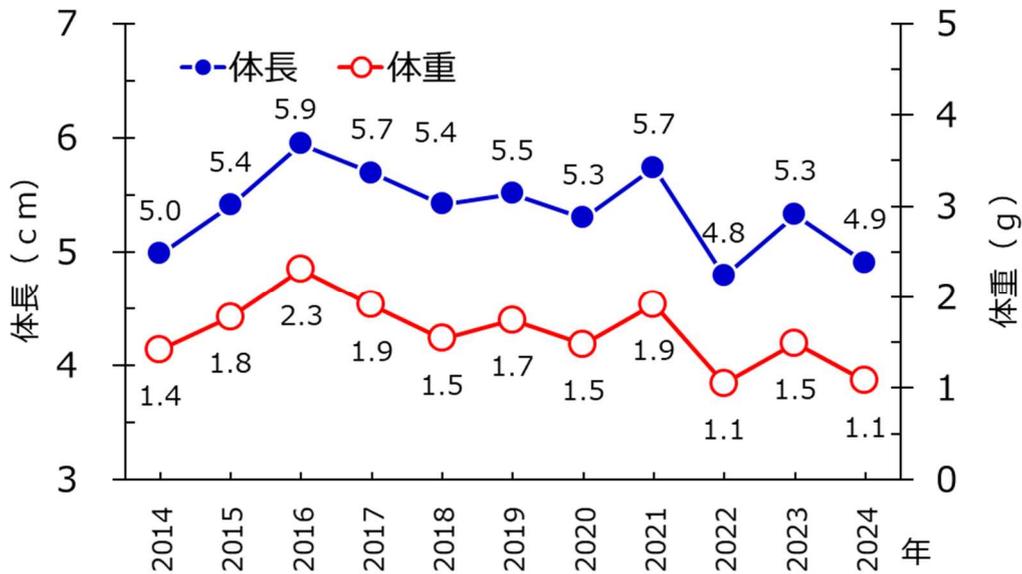


図 3 ワカサギの魚体サイズの推移（霞ヶ浦）

③ 今年（2024年）のワカサギ漁の見込み

漁期前調査の結果から計算した資源指数（重量）と、その年のワカサギ漁獲量の関係を図 4 に示しました。両者は正の相関にあります。今年（2024年）の資源指数（重量）は 6 となることから、ワカサギの漁獲量は非常に低い水準になるものと考えられます。

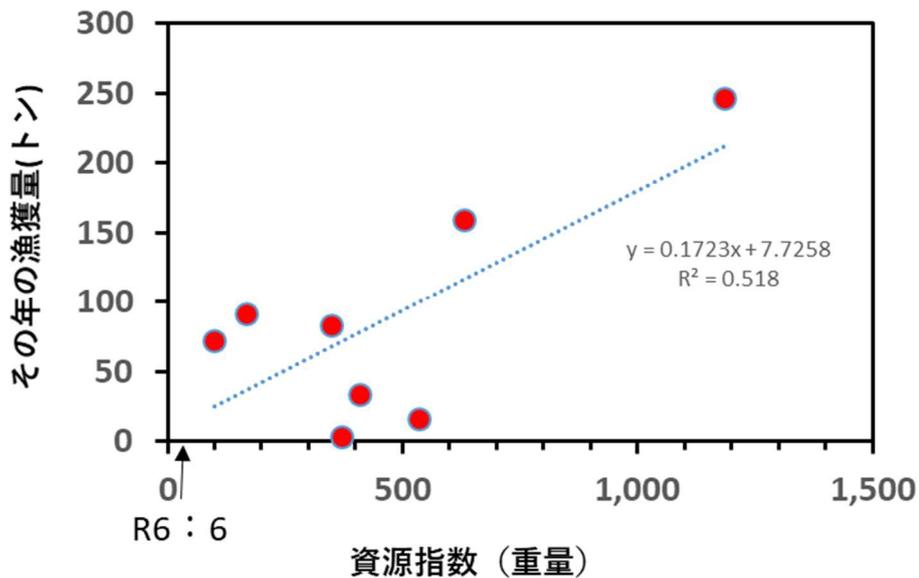


図 4 ワカサギの資源指数（重量）と漁獲量の関係（霞ヶ浦）

(2) 北浦

① 採捕量について

ワカサギの採捕重量は合計 0.3kg、採捕尾数は合計 285尾となり、前年の合計(3.3kg、1,731尾)を大きく下回り、対前年比で重量は **9.1%**、尾数は **16.5%**となりました(表3)。水域別には水原が0.3kgと大部分を占め、その他3地区は極めて少ない状況でした。図5に採捕尾数をもとに、水域ごとの面積で引き伸ばして計算した資源指数を示しました。今年の資源指数は0.004となり、2021年以降低い水準が続いています。

シラウオの採捕重量は合計 3.6kg(馬渡20分に換算して集計)、採捕尾数は合計 31,804尾(同)となり、前年(3.7kg、28,740尾)、と同程度となりました。水域別には白浜で1.5kg、馬渡で1.0kg(同)、その他2水域は0.5kg程度となりました(表4)。

また、昨年に続きハゼ稚魚が白浜を除きその他の地点で多く漁獲されました。

表3 ワカサギ採捕結果一覧(北浦)

年	実施日	採捕重量[kg/20分]					採捕尾数[尾/20分]				
		水原	白浜	江川	馬渡*	計	水原	白浜	江川	馬渡*	計
2014	7/7	28.7	9.8	28.7	30.7	97.9	16,028	5,915	19,482	28,202	69,627
2015	7/1	20.1	22.0	28.5	25.2	95.8	10,356	11,032	17,278	17,449	56,115
2016	7/6	6.0	0.9	0.9	23.0	30.8	2,239	359	349	9,845	12,792
2017	7/5	5.8	2.2	1.8	29.8	39.5	3,088	1,212	988	20,268	25,556
2018	7/4	29.8	13.0	12.0	5.1	60.0	15,596	6,778	7,624	3,799	33,797
2019	7/3	2.3	0.0	0.0	1.2	3.5	1,367	12	3	912	2,294
2020	7/2	4.6	2.7	1.3	5.1	13.7	3,559	2,061	1,093	5,238	11,951
2021	7/5	2.0	0.2	0.1	0.7	3.0	1,093	128	72	574	1,866
2022	7/4	1.0	0.1	0.1	0.3	1.5	718	29	51	260	1,058
2023	6/28	3.3	0.02	0.01	0.02	3.3	1,705	9	1	16	1,731
2024	6/26	0.3	0.01	0.00	0.00	0.3	271	9	1	4	285

※ 馬渡については水域が狭いため10分間尺網とし、20分間あたりに換算。

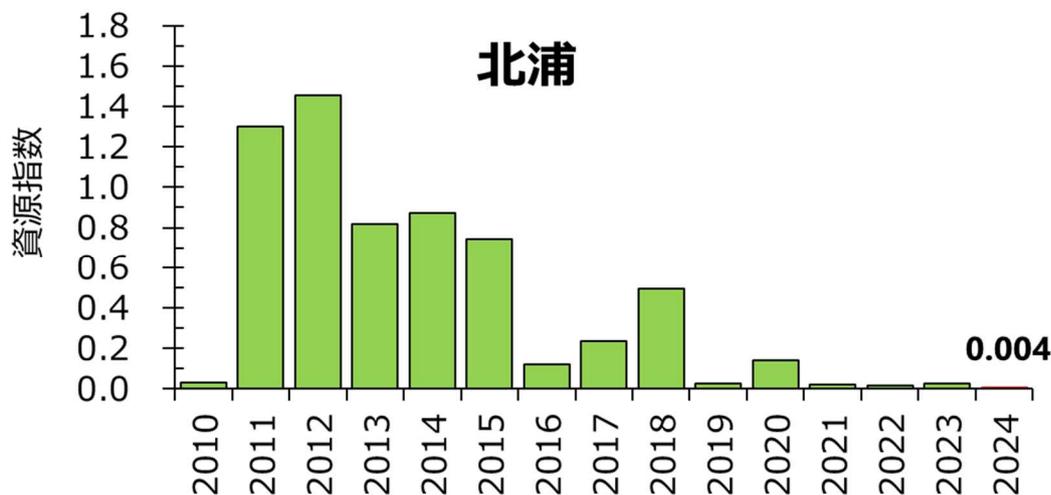


図5 ワカサギ資源指数(尾数)の推移(北浦)

② ワカサギの魚体サイズ

ワカサギの魚体サイズは、全調査点の平均で体長が 4.9 cm、体重が 1.0 g となり、ここ数年で見ると最も小さいサイズでした（図6）。

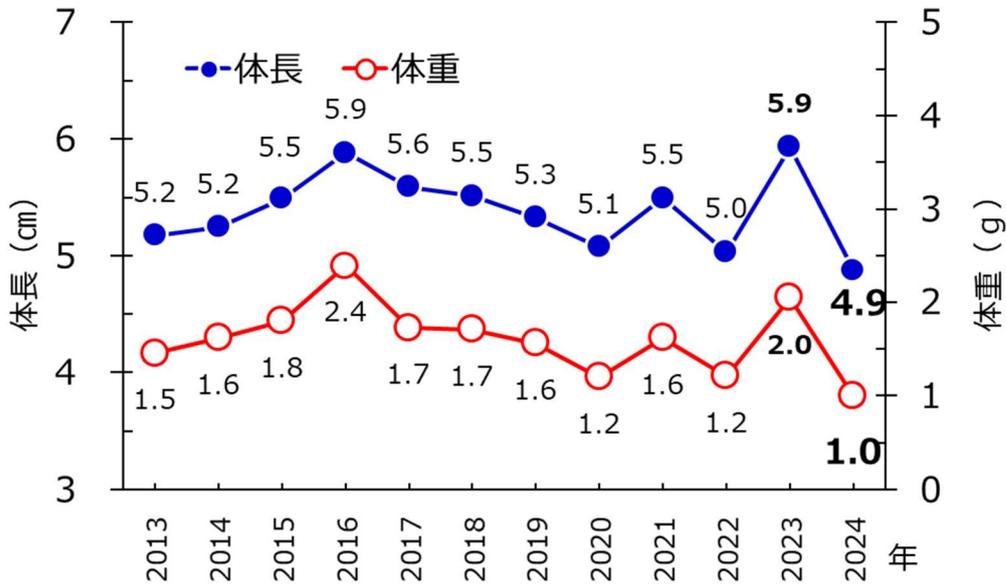


図6 ワカサギの魚体サイズの推移（北浦）

③ 今年（2024年）のワカサギ漁の見込み

漁期前調査の結果から計算した資源指数（重量）と、その年のワカサギ漁獲量（トン）の関係を図7に示しました。両者は正の相関にあり、今年（2024年）の資源指数（重量）は0.2となることから、ワカサギの漁獲量は非常に低い水準になるものと考えられます。

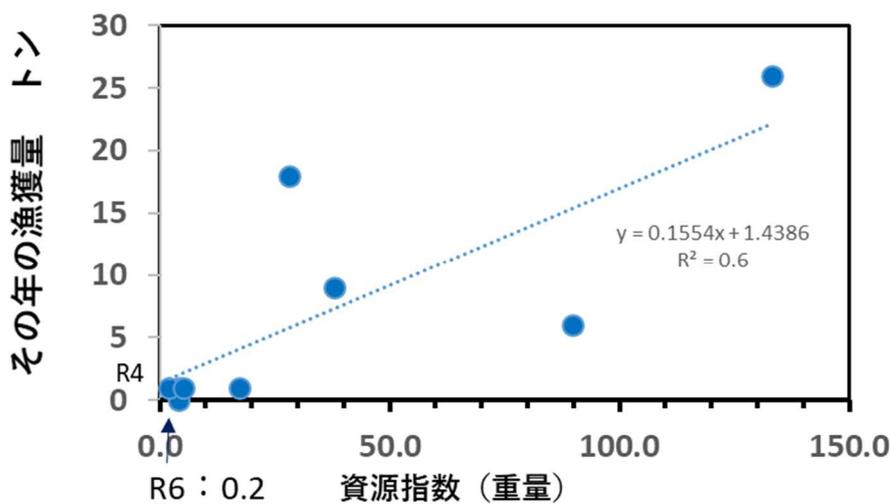


図7 ワカサギの資源指数（重量）と漁獲量の関係（北浦）